

5 教育相談

1 事業目的

児童・生徒の心身の健全な発達を支援するため、市内在住及び市内の幼稚園、こども園・小・中・特別支援・高等学校に在籍する幼児児童生徒及びその保護者、教職員を対象に専門の相談員による教育相談を行う。

2 実施方針

- (1) 相談内容に合わせた対応や他機関との連携を図る。
- (2) 特別支援教育巡回相談を効果的に実施する。
- (3) やまびこ館・学習支援室、スクールカウンセラー等との連携を図る。
- (4) スクールカウンセラーの活用を進める。

3 実施内容

- (1) 相談内容に合わせた対応や他機関との連携
 - ・ ケースカンファレンスやスーパービジョンをとおして相談の方向性を検討するとともに相談員の資質の向上を図る。
 - ・ 学校園、こども家庭課、保健センター等の他機関との連携を図り、効果的な相談体制・支援体制の構築を図る。
 - ・ 平成28年4月の「発達支援センター」設立に向け、こども家庭課との連携を図る。
- (2) 特別支援教育巡回相談の効果的な実施
 - ・ 相談内容に合わせて巡回相談を実施し、学校園における効果的な支援体制の構築を図る。
 - ・ 合理的配慮協力員を活用し、学校園における基礎的環境整備並びに合理的配慮に関する情報収集、指導助言を行う。
- (3) やまびこ館・学習支援室、スクールカウンセラー等との連携
 - ・ 相談事例の情報交換を行い、支援内容及び支援体制を検討する。
 - ・ より有効な相談を目指して情報交換を行い、不登校の未然防止や早期解決に係る取組を進める。
- (4) スクールカウンセラーの活用
 - ・ スクールカウンセラーに対する研修を実施して資質向上を図り、児童生徒の心の相談や教職員、保護者に対する助言・支援を行うとともに、問題行動等の未然防止と早期解決を図る。

4 相談体制

(1) 面接相談

① こころの相談

臨床心理士など専門の相談員が、「学校や幼稚園に行きたがらない」「集団や仲間に入れない」「いじめがある」「情緒が不安定である」「勉強が遅れがちである」「気になる癖がある」など、様々な悩みや問題について、本人や保護者を対象にしたカウンセリング、遊戯療法、箱庭療法等をとおして継続的なこころの支援を行う。

② 特別支援教育相談(発達相談)

専門の相談員が、発達の遅れやアンバランスにより生活や学習上の困難が生じていると思われる子どもについて、学校や家庭での様子の聞き取りや行動観察、発達検査等を実施し、対応

の仕方や支援の内容・方法、専門的な支援体制の構築等について助言を行う。

③ ことばの支援教室

専門の相談員(言語聴覚士)が「発音や声に問題がある」「ことばが遅い」「ことばにつまる(吃音)」など、子どものことばに関する問題の理解や対応について、助言を行う。

④ 医療相談

精神科医が、心身に障がいのある子どもや心理的な原因により不登校やその他の問題行動を起こす子どもについて、助言を行う。

⑤ 医療発達相談

発達を専門とする小児科医が、発達的な問題等により生活や学習上の困難が生じていると思われる子どもについて、助言を行う。

⑥ 情報交換

臨床心理士等の相談員が、保護者や本人の了解のもと、教育相談に関して、学校との情報交換を行う。

※ グループセラピー

1対1の相談(こころの相談、ことばの支援教室、特別支援教育相談等)と併せて少人数でのグループセラピーを実施し、コミュニケーション支援など、相談内容に合わせた支援を行う。

(2) 電話相談(電話による教育相談)

相談員が電話による教育相談を行う。内容によっては、継続相談などを紹介する。

(3) 特別支援教育巡回相談

発達に起因する特別な支援を要する幼児児童生徒の在籍する学校園の教職員に対し、当該幼児児童生徒に対する指導内容・方法並びに専門的な指導體制の構築に関して助言を行う。巡回相談は、総合教育センター、伊丹特別支援学校、兵庫県立こやの里特別支援学校の巡回相談担当者および学校生活支援教員(平成27年度は瑞穂小学校、有岡小学校、南中学校に配置)により実施する。毎月1回、巡回相談調整会議を開催し、巡回相談担当者間の連携を図り、合理的配慮についての検討を行うとともに、学校園における専門的な指導體制の構築を進める。

(4) 研修

スーパービジョン

相談事例の分析と今後の方向性について、相談員が大学教員等から指導を受ける。

ケースカンファレンス(週1回)で効率よくケース検討ができるように、討議の内容や進め方について検証し、相談員の資質の向上を図る。

(5) スクールカウンセラーの配置

市立小・中学校及び高等学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒の心の相談や教職員及び保護者に対する助言、援助等に当たるとともに、教職員のカウンセリングマインドを高めることにより、問題行動等の未然防止や早期発見・早期解決を図るなど、学校における教育相談体制の充実を図る。

スクールカウンセラーに対する研修を実施し、資質向上を図る。

(6) その他

① 他機関との連携

学校園、こども家庭課、保健センター等、他機関との情報交換や「発達臨床研究会」の開催や「発達支援学習会」(主催:伊丹特別支援学校)等への参加をとおして、相談・支援の連携を図る。

平成28年4月の「発達支援センター」発足に向け、こども家庭課との連携を図る。

② やまびこ館・学習支援室、スクールカウンセラーとの連携

不登校や登校しぶりについての相談事例を中心に情報交換を行い、登校支援の方向性について

て共通理解を進めるとともに、不登校に係る状況把握を行う。

5 成果と課題

(1) 成果

- ① 「こころの相談」「特別支援教育相談（発達相談）」「ことばの支援教室」など、それぞれのケースに合わせた対応により、様々な悩みの改善が図れた。
- ② 「特別支援教育相談（発達相談）」について、発達検査のフィードバック時に学校園の関係教員の同席を求め、情報の共有をすることで、当該幼児児童生徒への支援をより効果的に行うことができた。（全ケース数 219人）
- ③ 「特別支援教育巡回相談」で、教職員に対して専門的な指導体制の構築を図ることができるよう、指導助言を行った。（教職員のべ面接人数 575人）
- ④ 「巡回相談調整会議」にこども家庭課等の職員が加わったことで、子どもを取り巻く環境や支援の経緯、方法などについての情報交換が可能になり、子どもの理解を深めることができた。（各回 2人ずつ参加）
- ⑤ 学校園やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども家庭課担当者等との連携による情報交換を行うことにより、子どもにとってより適切な環境作りを進めた。（情報交換 35回）
- ⑥ セクシャルハラスメント及びパワーハラスメントに係る相談窓口について改めて周知した。
- ⑦ コミュニケーションや集団参加、社会性等に課題のある子どもに対し、少人数グループセラピーを実施し、相談内容に合わせた相談形態の多様化を図った。（第1期 小学校低学年対象4～9月 全10回 3人、第2期 幼稚園児対象10～3月 全10回 5人）

(2) 課題

- ① 子どもの発達上の課題や家庭的な背景など、複雑な相談ケースが増えてきており、ケースカンファレンスの中でより細やかに検討していく必要がある。
- ② 各相談の件数が多く、面接日時や面接回数等、相談者のニーズに合わない場合があるため、相談の受理を慎重に行う必要がある。
- ③ スクールカウンセラー研修を行ったが、スクールカウンセラーの年齢や経験年数に差があり、参加人数も少なかったため、引き続き研修を行い、資質向上を図っていくことが大切である。
- ④ 学校園との情報交換を行うことによって連携を密にし、学校園における専門的な支援体制の構築を図るとともに、さらに適切で効果的な支援に努めていく必要がある。
- ⑤ 不登校に係る相談が多いため、不登校や登校しぶりのケースについて、学校園や適応教室、スクールカウンセラー等と情報交換を行い、引き続き不登校の未然防止や早期解決に努める必要がある。

5 実施状況

(1) こころの相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規ケース数(人)	91	10	15	5	5	5	7	3	2	6	3	7	159
全ケース数(人)	91	95	96	85	78	100	103	100	100	100	90	96	1134
のべ面接回数(回)	155	184	204	177	126	185	221	184	181	171	181	186	2155

○全ケース数(人)の相談内容内訳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
相談内容	いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不登校	34	35	42	37	35	42	38	45	43	47	39	482	
	進路・学習	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	友人関係	1	2	1	2	2	2	2	2	1	2	1	19	
	異性・性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	親子関係	8	8	6	8	6	6	8	7	7	7	8	8	87
	しつけ・子育て	11	17	18	9	9	13	22	16	18	14	13	11	171
	身体・健康・発達障がい	10	9	14	12	8	16	11	11	7	13	7	9	127
	性格・情緒不安	17	15	7	9	11	14	14	12	14	17	17	16	163
	反社会的行動	1	1	2	1	1	0	1	0	2	0	1	2	12
	学校・教師の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	その他	8	7	6	7	6	7	7	7	6	0	4	4	69
合計	91	95	96	85	78	100	103	100	100	100	90	96	1134	

(2) 特別支援教育相談(発達相談)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規ケース数(人)	9	2	4	24	3	13	16	8	11	7	9	7	113
全ケース数(人)	25	9	9	55	19	15	18	11	14	7	12	11	205
のべ面接回数(回)	26	9	9	64	19	15	19	11	14	7	12	14	219

(3) ことばの支援教室

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規ケース数(人)	4	3	5	4	/	8	4	4	2	2	6	0	42
全ケース数(人)	17	14	14	22	/	38	32	32	27	38	32	22	288
のべ面接回数(回)	17	18	32	22	/	46	36	36	34	40	37	22	340

(4) 医療相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規ケース数(人)		1	2	4		3	2	3	2	2	3	3	25
全ケース数(人)		1	3	4		4	4	3	3	2	4	3	31
のべ面接人数(人)		2	12	17		16	13	12	9	6	16	10	113

(5) 医療発達相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規ケース数(人)		2	3	3		4	3	2	2	1	1	4	25
全ケース数(人)		2	4	3		4	4	4	2	2	2	4	31
のべ面接人数(人)		3	12	9		14	12	12	8	7	7	13	97

(6) 特別支援教育巡回相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
全ケース数(人)	3	7	28	20	0	13	13	8	12	3	4	15	126
のべ訪問回数(回)	3	7	32	27	0	13	13	25	32	12	9	15	188
のべ面接人数(人)	3	19	59	88	0	87	38	71	88	44	21	57	575

(7) 情報交換

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
全ケース数(人)	3	3	3	7	1	4	3	5	3	0	1	2	35
のべ面接人数(人)	3	4	3	12	3	11	3	9	9	0	1	2	60

(8) 電話相談

(件)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相 談 内 容	いじめ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	不登校	0	0	2	1	2	3	1	2	7	0	4	0	22
	進路・学習	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	8
	友人関係	0	0	0	4	0	0	1	0	1	1	0	0	7
	異性・性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	親子関係	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
	しつけ・子育て	2	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	7
	身体・健康・発達障がい	3	1	3	2	0	1	0	0	2	1	1	1	15
	性格	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	4
	情緒不安・集団不適応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	反社会的行動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校・教師の指導	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	その他	0	0	0	3	0	1	3	0	3	2	1	1	14
合計		6	5	9	12	2	8	6	4	16	7	8	5	88

(9) スーパービジョン

	月日	講師	講師の所属先	内容	参加人数
1	5月26日	森 茂起	甲南大学文学部教授	・性被害を受けた小学生男児のプレイセラピー過程	12
2	7月28日	伊藤 良子	京都大学 名誉教授	・障害のある子どもを持ち、DVから逃れてきたAさんの母親面接人との関わりを閉ざした男子中学生のプレイセラピー	11
3	8月25日	羽下 大信	元京都橋大学教授 学習院大学心理学科教授	・不登校を主訴に来所することになった男子生徒とのプレイセラピー過程	11
4	9月8日	伊藤 良子	京都大学 名誉教授	・長女のこだわりの強さを主訴に来談した母親との面接過程 ・勉強の遅れがちな長男に合った学習方法に悩む母親との面接について	11
5	11月17日	大島 剛	神戸親和女子大学教授	・落ち着きがなく、集団行動が難しい幼稚園児への発達相談を通じた関わりについて	12
6	1月19日	伊藤 良子	京都大学 名誉教授	・物を盗る中1女児とのプレイセラピー過程	11